



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 扶桑薬品工業株式会社

コード番号 4538 URL <https://www.fuso-pharm.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）戸田 幹雄

問合せ先責任者（役職名）執行役員 総務本部長代行総務部長（兼）経理部長（氏名）古市 晴彦（TEL）06-6969-1131

半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 2024年12月3日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（報道関係者向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	29,739	8.4	2,434	121.4	2,143	95.2	1,535	114.2
2024年3月期中間期	27,424	8.1	1,099	△14.4	1,098	△21.5	717	△29.6
	1株当たり中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年3月期中間期	179.75		—					
2024年3月期中間期	82.18		—					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	75,999	37,899	49.9
2024年3月期	75,802	36,661	48.4

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 37,899百万円 2024年3月期 36,661百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2025年3月期	—	40.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	42.00	82.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	8.3	4,000	103.7	3,700	98.1	2,600	88.7	304.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	9,451,169株	2024年3月期	9,451,169株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	908,596株	2024年3月期	906,453株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	8,543,677株	2024年3月期中間期	8,725,996株

※第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、報道関係者向け決算説明会を2024年11月11日（月）に開催する予定です。この説明会で使用する資料については、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等により、緩やかな回復基調で推移しました。一方、ウクライナ情勢や中東情勢の長期化、資源・原材料価格の高騰、物価上昇、金融資本市場の変動等により、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

医薬品業界では、薬価制度改革をはじめとして後発医薬品の使用促進策の強化等、医療費適正化諸施策が引き続き推進されており、経営のさらなる強化が求められるなか、研究開発費の増加、開発リスクの増大等、収益環境の厳しさが増しております。

このような状況のもと、当社は、主力製品の人工腎臓用透析剤キンダリー等、人工透析関連製商品及び輸液等のより強固な浸透を図るとともに、後発医薬品の販売促進にも注力してまいりました。

その結果、当中間会計期間の業績につきましては、腎・透析関連の後発医薬品の販売促進及び輸液・注射剤の他社品代替供給による製造販売増加の影響等により、売上高は297億39百万円と前年同期と比べ23億14百万円(8.4%)の増加となりました。利益面につきましては、原材料費や物流関連諸費用等の高騰は続いているものの、増産及び特例的な不採算品再算定等の影響によって輸液全体の不採算が緩和され売上原価率が若干改善されたため、営業利益は24億34百万円と前年同期と比べ13億35百万円(121.4%)の増加、経常利益は21億43百万円と前年同期と比べ10億45百万円(95.2%)の増加、また、中間純利益は15億35百万円と前年同期と比べ8億18百万円(114.2%)の増加となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産・負債及び純資産の状況

当中間会計期間末の総資産は、現金及び預金や建物及び構築物(純額)の減少等があったものの、受取手形及び売掛金の増加等により前事業年度末から1億97百万円(0.3%)増加し、759億99百万円となりました。

負債は、短期借入金の増加等があったものの、支払手形及び買掛金や長期借入金の減少等により前事業年度末から10億40百万円(2.7%)減少し、381億円となりました。

純資産は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加により前事業年度末から12億38百万円(3.4%)増加し、378億99百万円となり、自己資本比率は49.9%となりました。

なお、2024年5月13日付で、今後の当社の事業拡大に伴い運転資金の増加が見込まれることから、より強固な財務基盤を構築するとともに金融費用の圧縮を行うことを目的として、株式会社三井住友銀行をアレンジャーとするシンジケートローン契約を締結いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ5億2百万円減少し、46億17百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加や仕入債務の減少等があったものの、税引前中間純利益や減価償却費の計上等により7億69百万円の収入となりました。(前年同期は3億41百万円の支出)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出等により17億49百万円の支出となりました。(前年同期は14億22百万円の支出)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の減少や支払手数料の支払等があったものの、短期借入金の増加により4億77百万円の収入となりました。(前年同期は12億72百万円の収入)

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期業績予想につきましては、2024年3月期決算発表時(2024年5月10日)に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日に公表いたしました「業績予想の修正および期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,120	4,617
受取手形及び売掛金	24,328	25,735
商品及び製品	11,813	11,913
仕掛品	49	41
原材料及び貯蔵品	2,340	2,307
その他	1,295	756
流動資産合計	44,947	45,371
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,255	9,990
土地	8,818	8,818
その他(純額)	5,353	5,110
有形固定資産合計	24,427	23,920
無形固定資産	600	924
投資その他の資産	5,826	5,783
固定資産合計	30,854	30,628
資産合計	75,802	75,999
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,353	5,518
電子記録債務	9,074	9,235
短期借入金	5,701	11,027
未払法人税等	270	698
賞与引当金	922	932
その他の引当金	20	-
その他	6,308	5,664
流動負債合計	29,650	33,076
固定負債		
長期借入金	7,021	2,777
退職給付引当金	736	538
その他の引当金	153	157
その他	1,577	1,550
固定負債合計	9,489	5,023
負債合計	39,140	38,100

(単位:百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,758	10,758
資本剰余金	14,951	14,951
利益剰余金	16,541	17,778
自己株式	△2,588	△2,591
株主資本合計	39,662	40,896
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,634	1,639
土地再評価差額金	△4,635	△4,635
評価・換算差額等合計	△3,000	△2,996
純資産合計	36,661	37,899
負債純資産合計	75,802	75,999

(2) 中間損益計算書

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	27,424	29,739
売上原価	20,547	21,356
売上総利益	6,876	8,382
販売費及び一般管理費	5,777	5,947
営業利益	1,099	2,434
営業外収益		
受取利息及び配当金	52	53
受取保険金	77	81
その他	30	21
営業外収益合計	161	156
営業外費用		
支払利息	81	72
支払手数料	-	302
生命保険料	49	48
その他	31	24
営業外費用合計	162	447
経常利益	1,098	2,143
特別利益		
投資有価証券売却益	39	-
特別利益合計	39	-
特別損失		
固定資産除却損	11	7
投資有価証券評価損	101	-
特別損失合計	112	7
税引前中間純利益	1,025	2,136
法人税、住民税及び事業税	291	576
法人税等調整額	17	24
法人税等合計	308	600
中間純利益	717	1,535

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	1,025	2,136
減価償却費	1,080	1,161
投資有価証券売却損益(△は益)	△39	-
固定資産除却損	11	7
投資有価証券評価損	101	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	△30	10
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△75	△198
受取利息及び受取配当金	△52	△53
支払利息	81	72
支払手数料	-	302
売上債権の増減額(△は増加)	△2,125	△1,406
棚卸資産の増減額(△は増加)	△898	△59
仕入債務の増減額(△は減少)	1,150	△1,674
その他	△216	634
小計	12	934
利息及び配当金の受取額	52	53
利息の支払額	△88	△55
法人税等の支払額	△318	△162
営業活動によるキャッシュ・フロー	△341	769
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,390	△1,391
無形固定資産の取得による支出	△120	△295
投資有価証券の売却による収入	84	-
その他	3	△62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,422	△1,749
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	800	7,650
長期借入れによる収入	3,350	1,300
長期借入金の返済による支出	△1,876	△7,868
支払手数料の支払額	-	△302
自己株式の取得による支出	△650	△2
配当金の支払額	△349	△298
その他	-	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,272	477
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△492	△502
現金及び現金同等物の期首残高	8,014	5,120
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,522	4,617

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社は、医薬品事業の他に不動産の賃貸を営んでおりますが、重要性が乏しいことからセグメント情報の記載を省略しております。